

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	一橋大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	アジア・ビジネスリーダー・プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;"> 本プログラムは、将来の日中韓の経済界のビジネスリーダーを育成するため、3大学で協働教育を行うもので、日中韓のビジネスシステムの知識を集積し、グローバル化した企業内で活躍するための専門知識を磨き、3大学のカリキュラム・成績管理・単位認定基準の調整を促進すると同時に、他大学に対し新たなモデルを提示することを目的としており、事業目的の達成に向けておおむね順調に実施されている。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> ダブル・ディグリー制度の導入については、北京大学光華管理学院とは当初計画どおり受入・派遣が開始されている。ソウル大学校経営学部・経営専門大学院とは当初計画から遅れはあるものの覚書の締結が完了し、来年度から受入・派遣が開始できる状況になっており、今後も制度の推進に努めることが必要である。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> また、本プログラムを着実に進めるための広報活動が実施されているが、日本人学生の参加を募るために始めたオープンキャンパスや人材育成フェアなど日本企業向けの取組の成果が期待される。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> 学期間交換留学プログラム、ダブル・ディグリー・プログラム及び短期集中プログラムなどを通して、日中韓の学生たちに欧米では学べない本プログラムの魅力をより理解してもらうため、今後も更に産業界との連携を深め、カリキュラムを発展させていくことが望まれる。 </p>	